

2年 4組 1班の活動報告です。

◇ 研究テーマ「資源エネルギー消費削減による持続可能な社会」

現在におけるエネルギー、資源の枯渇などの問題に着目し、世界で行われている解決策や、その効果などをまとめ自分たちの実践できることも同時に考えていくことを方針とした。



◇ 実践したこと（フィールドワークなどで調べて分かったこと）

その中でも大規模な活動で分かったことで「スターバックス社」において行われていた「プラスチックストローから紙ストローへの移行」について調べ、その効果や地球温暖化へのつながりなどを調査した。

実際の店舗に行き、紙ストローを体験し、プラスチックストローとの違い（舌触りや溶け具合、耐久性など）を実感した。

インターネットでは「地球規模での資源、エネルギー使用」や、「資源の枯渇に関する問題」などを調査し、資源枯渇の近さを実感するとともに具体的な数字を知ることでその問題に対して、危機感を感じる事ができた。

◇ 提案

製品の手入れをしたり、買い替えをすることで、内部抵抗が大きくなるのを防ぎ、消費電力の抑制を図ること。

電力を使用する時間帯を電力使用量が比較的に少ない、夜間に移すようによびかけることで、より効率よく発電することができるようにすること。

◇ 活動を通じて考えたこと

今回の活動を通じて、限りのある資源やエネルギーを効率よく使用するために、国や地域として大きな活動や政策を行うことはとても有効的で重要であるが、一人一人が今起こっている問題に当事者意識を持つことが極めて重要であると思った。 坂井

今回の活動を通して身近な企業の取り組みを調べ、自分たちが日常からできる取り組みについて考えることができた。今回考えた取り組みを実際実践して、環境問題の解決に貢献していきたい。 田中

このような省エネの呼びかけや改善策の提案などはいろんなところで語られたりしているが、実際に行動に移したり効果の大きい活動に移している企業は少ない。

そういった点でも僕らが身近に「実践しやすい」活動、「実践したくなる」活動を探し、広めていくことが必要と考える。 久留

今回の活動を通し、今までは7時ごろに消費電力はピークになると思っていましたが、まだ明るい内の昼に最も多いと知ったので、昼に照明をすべて消せば生活の支障のないままによりよくできるのではないかと個人的に思った。 剣